

桃栗笑

題字 桃栗三年 揮毫 東温市教育会OB 渡部 良温 解説は3面



発行所
 (公財)愛媛県教育会
 〒790-8545
 松山市祝谷町1丁目5-33
 エスポワール愛媛文教会館内
 電話 (089)945-8644
 F.A.X (089)945-1459
 E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 大洲南中学校
- (3) ふるさとに生きる
- (4) (5) 特集「心に残る私の先生」
- (6) (7) 第45回中国・四国算数数学教育研究松山大会を終えて
- (8) ふるさとスケッチ

感謝と礼儀



元 愛媛県小中学校長会副会長 福井 壽 泰

勤務している育英幼稚園グループでは、二宮金次郎(尊徳)の教えに学び「人間力・健康力・思考力・創造力」、即ち「生きる力」の基礎を育むことをねらいとしている。

特に最近、親と子・子と親、家族関係にはじまり、他者との関係の欠落、崩壊に起因する悲惨な出来事に憂うことが多い。本園理事長は、そういう状況から、日本の将来を担う大切な宝である子どもたちに、金次郎(尊徳)の生き方や偉業に習い、「感謝と礼儀」こそ小さい子どものうちから根付かせていく必要があると、強く説いている。「ありがとう・すみません」

「おはよう・こんにちは・さようなら」

日本には優しく美しい言葉がある。

礼儀は挨拶であり、挨拶は、相手への感謝、尊敬、いたわりなどの心を伝える行為でもあり、心づくりでもある。

私は、門に立ち、朝のお迎え、帰りの見送り子どもたちと保護者に声を掛けている。

「お早うございます。」「さようなら。」短い言葉であるが、二、三歳の幼児にとっては、すんなりと言えない子どももいる。時間がかかる子、笑顔にならない子、大きい声が出ない子など様々である。幼児は、体験を通して学んでいく。な

すことによつて、大人の行いや話から、言葉や行為を覚え身に付けていく。挨拶もそうです。昨日まで出来なかった、口に出せなかった挨拶の言葉が言えた。親子共に喜び顔になり、子どもは出来たことへの自信となつて、表情にも笑顔が溢れる。

幼児期の子どもの心身の成長、様々なことの吸収力の盛んなことは、驚くべきものがある。子どもを取り巻く環境の重要さを痛感する。

金次郎像の台座に記された言葉の一つに、「礼儀と感謝を忘れずに一生懸命努力する」理事長 長戸金昭とある。

寒さの中を登園してくる園児たち、寒風を厭わず友達や先生と運動場を駆ける園児たち。元氣いっぱい、笑顔いっぱい、遊びや体験のなかで、豊かな感性と学びの姿を願ひ、今日も園児たちを出迎たい。

- 一略 歴一
- (ふくい・としやす)
 - 昭和38年 愛媛大学教育学部卒業
 - 昭和51年 53年
 - ブラジル・サンパウロ日本人学校
 - 平成2年 松山市余土小学校教頭
 - 平成7年 愛媛県教育センター
 - 平成8年 松山市立堀江小学校長
 - 平成10年 松山市立北久米小学校長
 - 平成13年 退職
 - 平成17年 昭英学園育英第二幼稚園長

響

二〇一一年(三月)に東日本大震災が起こり、日本のスポーツ界、アスリートたちは震災後の国や社会、地域の復興・復旧を担う子どもたちに対して、スポーツを通じてこの国を元気にし、少しでも人々の支えになりたいという思いで、スポーツの力で支援活動を続けている▼二〇一二年(七月)のロンドン五輪で、史上最多の三十八個のメダルを獲得したのを記念し、昨年八月に初めて五輪メダリストたちによる銀座パレードでは、五十万人が沿道を埋め尽くした。約二十分間のパレードで、その経済効果は八十億円(?)に上るとのこと。銀座のパレードは、経済面で驚きの効果を生み出した▼二〇二〇年の東京オリンピック招致が実現すれば、日本国中を活性化させる大きな力となるであろう。また、震災から復興した姿を世界に示し、サポートいただいた世界の方々に伝えられる絶好の機会でもある。是非とも二〇二〇年オリンピック(東京開催)が実現されることを願っている。

ひとこと

「学ぶ」



愛媛県小中学校長会
副会長
小椋由紀子

「学ぶ」ことは「生きる」こ

と。曖昧なイメージが実感とな

なっていく今の自分がある。自

分の学びについて振り返ると

と小中一貫、いや人生について

と考えられるかもしれない。

幼い頃、「なぜ」と思うことが

が多くあったような気がする。

でも、「なぜ」と素直に質問

できない。尋ねてはいけない

と感じ取っていたのか、尋ねる

ことが、少し鮮明になった。

中学・高校と進むと、学ぶ内容

の深化に伴い、努力も、自分の

限界も知った。そのことが自

分の生き方を決め、仕事を決

めた。職業柄、学ぶことは

仕事の充実感につながった。

ただ学ぶことがあまりにも多

く、自分の生きる時間を何に

使うかが問われた。

そして、今、「学んでいる」と

「生きている」が同時進行の

ように感じる。それは、「面

授」という言葉に出会ってから

だ。様々な課題に毎日のように

(松山市立東中学校長)

学校紹介

No.137

大洲市立大洲南中学校

伝統を引き継ぐ

開校記念式典・エール交換

毎年五月二十七日、大洲市総合体育館に大洲北中学校、大洲南中学校両校の全校生徒と全教職員が集まり、開校記念式典が挙行されている。

昭和三十五年は大洲中学校から分離独立した本校「大洲南中学校」と「大洲北中学校」は、同じ校訓、校歌を持つ全国的にも珍しい兄弟校である。その伝統を引き継ぎ、お互いが良きライバル校として切磋琢磨していくことを誓い合い、今も開校記念式典が継続されている。

式典に続いて行われる両校のエール交換(応援合戦)も恒例となっている。生徒たちの元気いっぱい掛け声や堂々とした演技は、保護者、地域の方々から評判となっている。このエール交換を成功させるため、本校では、生徒会役員を中心に春休みから準備が進められる。生徒の関心・意



私は、本校に勤務して四年目になるが、このエール練習・エール交換への取組で本校の一年間が決定すると言っても過言ではないと思っている。

全校をまとめるリーダーの養成、集団行動、式典に臨む服装や頭髪等の生活指導等等、教職員も全力で生徒を指導していく。そして、エールリーダーを中心に全校生徒が目標に向かって一つになれるように全員でバックアップする。

エール交換を終えた後の生徒たちの感動の涙に思わずもらい泣きしてしまうのは、私だけだろうか。

今年も、また、新生徒会役員が、先輩の伝統を受け継ぎ、新しい風を吹かそうと、エール交換の準備を始めようとしている。

南北両校の絆を深め、共にライバルとして励まし合い、未来に向かって更に発展していくことができるよう、このよき伝統を引き継いでいきたい。

(教頭 尾上 利治)

題字に寄せて

桃栗三年



東温市教育会OB 渡部 良温

桃栗三年柿八年、柚の色香は十八年。種を植えて、花が咲き実がなるまでの年月をいったものです。

江戸時代の享保五年、江島其磧が著した「浮世爺形氣」の中にある。多くの人になじまれ、時と人によっては「梅は酸いとて十三年」「柚の大馬鹿十八年」等と呼ばれることもある。果樹が実をつけるまでには年差があり、その間、心のこもった世話が必要です。

人も同じ。神様は十人十色に人を創られたのですから、その願いや育て方、花の咲かせ方が異なるのが道理。人を信じ、根を育てること、に努めたいものです。

ふるさとに生きる

マスターズ陸上への挑戦



岡 武男先生

訪問者 丸山 順二

(松野町立松野東小学校教頭)

アジアで一番速いおじいちゃんとして各方面から取材を受けておられ、現在は百メートルを十七秒前半で走られる岡武男先生にお話を聞かせていただきました。

問 マスターズ陸上競技大会に出場しようと思われたきっかけを教えてください。

答 四十歳代まで、体育主任として子どもたちと一緒にトレーニングをしていました。泥んこになって運動場を走っていましたので、いつかはテレビで見えるような競技場で走ってみたいかったです。最初の出場は五十八歳のときでした。

問 トレーニングのメニューや健康管理はどうされてお

られますか。

答 冬はジョギングを主にしています。短距離走の練習をするのは三月ごろからです。百メートルの直線コースを走ったり、スパイクを履いて六十メートルのダッシュをしたりしています。宇和島の競技場や高知の春



第30回記念 国際・全日本マスターズ陸上競技選手権大会

No. 70

野に行って走ることもあります。何よりも、大会に出場するために規則正しい生活をし、食事にも気を付けています。

問 マスターズに出場されて得られたことは何ですか。

答 二百メートルで三十一秒九六の日本新記録を出したときは、何とも言えない充実感がありました。記録を出すために日頃から積み重ねている練習は確実に自分のものとなっていること、そして健康であること、ありがたさを感じています。

また、大会を通じて目標としていた方も親しくなることができました。大会のたびに近況報告をしたり、年賀状を出し合ったりする仲間ができました。

問 これからの目標をお聞かせください。

岡 武男先生(83歳)
(松野町吉野在住)

とてもお元気の岡先生、今後もマスターズで御活躍されたいですね。

せください。

答 これからは年齢への挑戦です。マスターズに出場してきて、百メートルは六十歳代では十年間で約一秒遅くなりました。七十歳代では五年間で一秒遅くなりました。八十五歳になってもマスターズ陸上競技大会に出場して走りたいと思っています。しかし、それまで体力を保持できるか心配です。大会に出場するために、日々、健康管理に留意し、トレーニングを続けていきたいですね。

柳川 募 應

上ばかり見てもきりない道を往く
尖閣の山羊に国名聞いてみな
忘れ物日毎に多し老夫婦
梵鐘の響きが満ちる花の里
忘年会我が身の老ひもつい忘れ
この歳になりて効きそなどくだみ茶
三味絶えて寒月高まる故郷の宿
金婚にいた者夫婦共白髪
ストレスも愚痴も忘れる万歩計

- 新居浜市 印南 秀克
- 今治市 森 登志雄
- 今治市 森 ユキ子
- 松山市 松友 順三
- 松山市 廣瀬 幸一
- 松山市 加藤 和子
- 大洲市 鎌田 文俊
- 内子町 小野植元 幸
- 宇和島市 米子 達雄

特集 心に残る私の先生

思い出の先生



四国中央教育会
OB
山中 義彦

れ、やる気と自主性を育てる指導に大変熱心だった。宿題は出さないがノート競争と称する課題を出された。一冊使い終わるごとに教室に掲示した棒グラフに記入し、子どもたちの競争心を駆り立てた。

私は、宿直の時の先生をよく訪ねた。興味深い話をよくしてくれ、将棋やトランプ等の相手もよくしてくれたりしたので、宿直の日を楽しみにしていた。

私はH先生の人間性に惹かれ、H先生のような先生を夢見て教職の道を選んだ。しかし、残念ながら先生は若くして公務中に事故で亡くなられた。教職生活を終えた今、先生に一步でも近づけた教師の道だっただろうかと思ってしまう。

心に残る先生の一言



今治市鴨部小
教頭
越智 幸雄

本年度より小学校勤務になりいろいろと戸惑っている所ですが、こういう時にこそ頼りになるのが、過去の先輩方からのアドバイスです。

「心に残る私の先生」はたくさんいますが、中でも特に私の心の支えとなった言葉を頂いた小学校時代の担任の先生が思い出されます。その言葉とは、「幸雄、運動をしつかりやれよ！」です。普段、頻繁に使われる何気ない言葉ですが、卒業式ということでも印象に残っています。

その後、私は、中学校で陸上や野球、高校・大学では卓球に挑戦し、教員になってからも、サッカー、卓球、バレーボール、ソフトテニスの顧問となり生徒とともに汗を流しました。しかしながら、三十歳を迎える頃から徐々に体力が落ち始め、四十歳近くで試練？を迎えることとなりましたが、やはり、「こんなときこそスポーツをしないと」という想いで今まで以上にスポーツを通じた体力づくりに取り組みました。五十歳を超えた今では、早朝ランニング、社会体育でサッカー、そして、

放課後は子どもたちとジョギングで汗を流しています。

今思えば、こうして続けられているのは、あの一言に励まされているのかなと感謝しています。そして、健康な体を維持できていることに最大の喜びを感じながら、いつか自分も子どもたちの心の支えになる一言を与える教師になるように努力していこうと思います。

「広く、深く、永く」を信条にして！

我が恩師を目指して



山石市井北小
市幹教諭
浅野 浩重

『教諭』とは、書いて字のごとく『教え諭す』という職責を担っています。そのことを教えてくださった小学五年生のときの担任の先生のことを、今でもよく思い出します。

小学校の頃の私は、やんちゃで休み時間になると一目散に運動場に駆け出し、汗びっしょりになりながらドッ

ジボールや陣取りなどをして遊んでいました。時には、遊びに夢中になってチャイムが鳴っても、すぐには教室に帰らなかつたため、遅れて、先生に叱られたこともありました。外掃除の当番のときには、竹箒でチャンバラをしたり、木に登って虫取りをしたりして、真面目にせず、注意されたこともありました。

子どもながらに担任の先生の指導を素直に聞くことができたのは、感情にまかせて怒るのではなく、諭してくださったからだと思います。時には厳しく、時には優しく、ユーモアも交えて諭してくださいました。また、先生は「目標を持って、目標となる人を決めてその人を手本とし、追いつき追い越せるよう努力なさい。」と言いながら、よく故事成語や詩を語って聞かせてくださいました。特に朱熹の『偶成』は何度も板書され、クラス全員で暗唱しました。

生きる道しるべを示してくださいました先生。すでに他界されましたが、これからも、私の目指す教育者として、少しでも追いつけるよう精進して

私の心の先生



小翠市山本 聡子
伊予教諭

いきたいと思っています。

心に残る私の先生は、なんともシンプルな言葉を私に残した。

「教師は、どんなに辛いことがあっても笑顔で。」勉強は、子どもがよく分かるように。」
昨年春、ある新聞記事(今から五十三年前の記事)が目にとまった。そこには、私の

心に残る先生が取り上げられていた。県立家庭実業学校の教護だった先生。妻と三人娘とともに昭和二十五年から三十五年間、同校で教員生活を送っていた。戦争の爪跡深く残る時代。生きていくために非行に走る子どもも多かった。先生は、子どもと寝食をともにし、昼間は先生、夜は父親となった。必ずしも先生の指導が実を結ぶことばかりではなかったと、聞いている。

逃げ出したり、再び罪を犯したりする子どももいた。しかし、立派に自分の夢を見つけ就職し、家庭をもった人もた

くさんいた。その中には、お蕎麦屋さんになった人もいて、先生の家の年越し蕎麦は、長年の間、その方が送ってくださった蕎麦だったらしい。大晦日は、その教え子にとつて、恩師の笑顔を想い、自分の仕事に誇りを感じるような日だったに違いない。

昨年秋、先生は心の中に生きる先生になった。シンプルな言葉が、もつと重みをもってくる。先生が本当に辛い時、子どもに向けていた笑顔とは、どんなものであったのだろうか。勉強をすることが、すなわち、その子どもが生きていく術であると感じたとき、先生はどのように指導されていたのだろうか。心の

中の先生に、同じ教職の道を歩む私は、変わらず問いかけている。

不易と流行とは リッチャー先生のこころ



八幡教育会OB 上田 純子

定年退職して二年目。教職

員生活を振り返ってみると、多くの方からご指導を受けたいことを思い出します。特に昭和五十七年から四年間にわたる八代中学校での勤務は、学ぶことの多い「人生の道場」でもありました。そこで柏木律子先生と出会いました。時の英国首相「鉄の女」サッチャーをもじって、誰が名づけたか「リッチャー」先生。その優れた指導力と存在は、一種、畏敬の念をもって語られておりました。あるエピソードをひとつ。

昼休み、日直で校舎を回っていると、柏木学級はもぬけの空。「おや？」と思う間もない。

く、どやどやと生徒たちの足音。生徒たちの額には大粒の汗。なんと「班マッチの決勝戦」だったとか。四十人もの生徒が、貴重な昼休みのひと時、全員で班マッチのドッジボールを楽しんでいたのです。ただかだか終わりの会でのレクリエーションにすぎません。生徒指導面で悩むことの多かった私は、疑問を先生にぶつけました。先生からは「学級経営における教師の姿勢」について静かに語っていただいたことを思い出します。その後、私も学級を受け持つようになりましたが、理想とする柏木学級にはなかなか近づけませんでした。リッチャー先生は数学の授業も素晴らしく、厳しい中にも慈愛に満ち、嫌いの生徒はいなかったように思います。「数学のノートで生徒指導をする」が先生の信条でもありました。教育の現場における「不易と流行」の意味を再考するこの頃です。

祝 受章・受賞おめでとうございます

瑞宝双光章(高齢者叙勲)

- 徳本 忠司様 88歳 元松前町立岡田小学校校長 松前町
- 清水 恭二様 88歳 元八幡浜市立神山小学校校長 八幡浜市
- 久野 俊夫様 88歳 元宇和島市立北灘小学校校長 宇和島市

平成二十四年度 文部科学大臣優秀教員表彰

- 阿部 修一様 59歳 愛媛大学教育学部附属特別支援学校主事教諭 松山市
- 藤田千恵子様 57歳 四国中央市立三島小学校教諭 四国中央市
- 久保省一郎様 51歳 内子町立内子小学校教諭 内子町
- 越智 徳郎様 52歳 今治市立鳥生小学校教諭 今治市
- 城戸 敬幸様 46歳 松山市立雄郡小学校主幹教諭 松山市
- 尾下 桂子様 48歳 松山市立拓南中学校教諭 松山市
- 井上 千代様 50歳 西予市立三瓶中学校養護教諭 西予市
- 浅野 克司様 52歳 西条市立西条北中学校教諭 西条市
- 西岡 香恵様 47歳 松山市立日浦中学校教諭 松山市

応募短歌

朝明けを鳴くホトトギスあなたなる 青葉の山の空澄みわたる
島の宿一族郎党あい集い 祝ぎしくれたるダイヤモンド婚
小春日に夫と段畑草むしり 大根蕪は夕餉の膳に
凜とした声館内に冴えわたり 児等晴れやかに門出の朝
工房にガラス吹きある若者の 一途なる眼の中の火の色

- 新居浜市 印南 秀克
- 今治市 森 登志雄
- 今治市 森 ユキ子
- 松山市 廣瀬 幸一
- 愛南町 前田 充

訂正

二月号八面受章欄の紀伊房男様を紀井房男様と、お詫びし、訂正いたします。

第45回中国・四国算数・数学 教育研究(松山) 大会を終えて

松山市立姫山小学校

教諭 葛原 由美子

一 はじめに

大会主題「生きる力を見すえ、活用力の育成を図る算数・数学」のもと、去る十一月二日には、三百余名の参加者を迎えて、研究大会を行った。

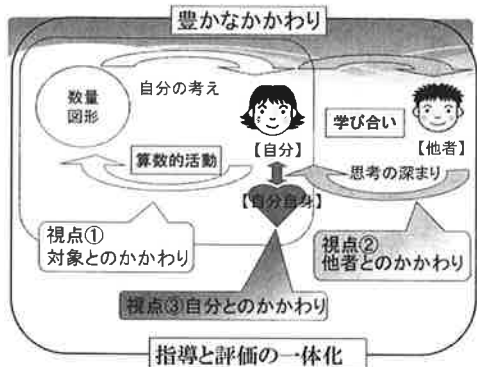
二 本校の研究主題

研究主題は、「豊かなかわりの中で、算数を活用する力の向上を目指して」である。

便利さに慣れきった子どもたちは、知らず知らずのうちに互いのかかわりが薄くなり、物事を断片的に捉えがちで、一連の流れの中で理解することが難しくなってきた。そこで、「豊かなかわり」の中で「断片的な知識をつなぎ」「習ったことを生かしながら未知の問題に柔軟に対応できる力」を付けようと授業の改善に取り組んだ。

三 研究の視点

「豊かなかわり」の一つ目の視点「対象とのかかわり」



を「教材研究」として、二つ目の視点「他者とのかわり」を「指導法研究」、三つ目の視点「自分とのかかわり」を「子ども研究」として捉えた。また、それぞれの視点のキーワードを「数学的な考え方の追究」「学び合いの工夫」「指導と評価の一体化」として研究に取り組んだ。

四 公開授業

①第一学年「ひきざん(二)」
ブロックなどの操作活動を通

して、繰り下がりのあるひき算の計算方法を見つけ、ペアや全体で説明し合うことで、減加法・減々法のように気付かせる授業を展開した。

②第二学年「三角形と四角形」
三角形といえるかどうか分からぬ図形について、「頂点」「直線」「囲まれている」などの言葉を使って、三角形を明確にしていく学習を展開した。

③第三学年「一けたをかけるかけ算の筆算」
(二けた)×(一けた)の答えを求めるとき、既習事項を生かして、一人一人の子どもたちがホワイトボードを使って自分の考えを図や式で表し、かけ算の筆算につながる授業を展開した。

④第四学年「垂直・平行と四角形」
平行四辺形の不思議なくじ引きから授業を始めた。当たりの平行四辺形は、実はひし形であり、当たりとはずれの相違点を話し合う中で、ひし形の定義を発見する授業を行った。

⑤第五学年「面積」
前時に子どもたちは、台形の面積の求め方を考えた。本

時の導入では、前時の求め方の図と式をずらして並べた。子どもたちは、図と式とのずれから、式の意味を話し合う中で、公式につないでいく授業を展開した。

⑥第六学年「比例・反比例」
大量のクリップの数を工夫して求める学習である。三通りの考え方から、「縦に見た単位量あたり」「横に見た比の利用」「比例の表には、それらがまとめられているんだ。」と三つの関係が分かりやすくする授業を展開した。

⑦特別支援学級
三学級を公開し、一人一人の興味・関心を大切にして個に応じた学習活動を展開し



た。
パターンブロックやすごろく、身の回りのものなどを使って楽しく学びながら、形や数の理解を深める授業となった。

五 おわりに

午後からは、五つの分科会に分かれて、研究発表があり、熱心な研究協議も行われた。

今大会を終え、ここからまた新たな一歩を踏み出したいと考えている。そのために、いただいた御意見を真摯に受け止め、今後の研究に生かしていきたい。

学校生協組合員の皆様へ

青山カード会員ご入会のおすすめ

洋服の青山：会員特典10%引きになります。
その他特典もあります。

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
又は、郡市学校生活協同組合

お問合せは

第45回中国・四国算数・数学 教育研究(松山) 大会を終えて

松山市立勝山中学校

教諭 大角 秀 則

一 はじめに

大会主題「生きる力を見すえ、活用力の育成を図る算数・数学教育」のもと、二百余名の参加者を迎えて、公開授業・研究協議、各県参加者の研究発表等が行われた。

二 本校の研究テーマ

大会主題を受けた本校の研究テーマ「豊かなかかわりの中で、数学を活用する力の向上をめざして」のもと、学習や生活の場面で積極的に数学を活用する生徒を育成するための支援の在り方を研究してきた。具体的仮説を「活用型授業の充実」、「かかわり型学習の充実」、「指導と評価の一体化」として取り組んだ。

三 研究大会概要

【公開授業】

〈第一学年〉平面図形

学習課題「県章で仲間作りしよう」で、操作活動を中心



にした授業を行った。根拠を明らかにして自分の考えを説明したり、図形を移動の見方から考察したりした。

活用の視点としては、着眼点を明確にして仲間作りをすることで、「情報分類・整理・選択力」を身につけたり、図形間の対称性を利用して考察したりすることができた。ま



た、単元を通して県章を扱い、興味・関心を持続させながら、図形に対する直感的な見方や考え方を深めさせた。

〈第二学年〉一次関数

関数領域は、具体的な事象をイメージしにくいいため、苦手意識を持つ生徒が多い。そこで、学習課題を「さおばかりに隠れている関係を見つよう」とし、具体物「さおばかり」を使って興味・関心を高め、一次関数と出会わせた。

活用の視点としては、さおばかりモデルを使った実験を通して数理化したり、数学的に表現したりする力を身につけた。また、一次関数を捉え

る際には、比例の考えを活用させることができた。

〈第三学年〉標本調査

学習課題を「池の中の魚の数をどのように求めたか考えよう」とし、生徒が興味を持つ身近な題材を扱った。母集団から標本を取り出し標本の傾向を調べることで、母集団の傾向が読み取れることを理解し、既習の数学を基に課題解決の筋道を説明した。

活用の視点としては、実際には数えられない池の中の魚の数を標本調査により推測させることで、「数理化する力」を身につけ、課題解決の中で、比例の考えや数量化・図形化の考え方をういたり、検証実験で、数学的な結果を事象に即して解釈したりする力を身につけた。

【研究発表】

中四国各県から五つのテーマについて、合計二十の発表があり、研究を深めた。

四 終わりに

学んだ数学を、学習の場や日常生活の問題場面で活用する生徒を育成することを目指して取り組んできた。「活用型授業」では活用する力の要

素や数学的な考え方を明確にし、活用を意識した単元構成や授業を展開したことで活用する意識が高まった。「かかわり型学習」では表現力を重視することで思考力が高まった。「指導と評価の一体化」では、活用問題や学習感想の活用により生徒の変容を把握しながら、個に応じた指導の充実や評価を生かした授業改善につながった。

最後に、本大会を迎えるまでに、ご指導・ご協力をいただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

愛媛県学校生活協同組合連合会

エネオスカードご入会のおすすめ

カード会員価格でガソリンを県内はもちろん、全国のエネオス給油網(全国9,900か所)において、共通利用できます。ジョモステーションでもご利用できるようになりました。

愛媛県学校生活協同組合連合会

電話 (089) 925-0555

又は、都市学校生活協同組合

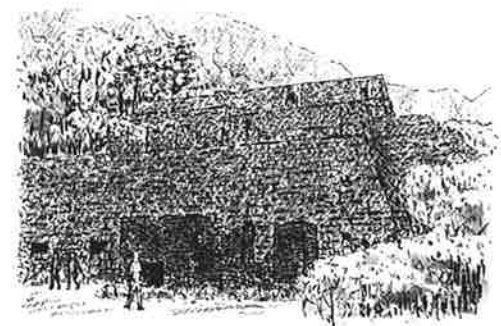
お問合せは

ふるさとスケッチ

東平貯鋳庫跡



新居浜教育会 OB 合田 正



新居浜市の山間部に東平地区があります。採鋳最盛期には、約三千八百人が生活し、小・中学校も在りました。

思い浮かべるものです。

閉山後も多くの遺跡が残っていますが、この貯鋳庫跡は見応えがあります。暗色の花崗岩を緊密に積み上げた壁面は、美しさの中に厳しさもあり地中海辺りの堅固な要塞を

雪積もる当地も木々が芽吹く頃には、学校跡に造られた施設を使つての体験学習に訪れる多くの小中学生で賑わいます。

ご冥福をお祈りします

Table with 3 columns: Name, Age, Address. Includes names like 楮本 好勝様, 山本 巖様, 神野 義喜様, etc.

ローカルトピックス

今治自然塾

瀬戸内しまなみ海道「今治IC」から北へ車で約五分のところ、しまなみアースランド(今治西部丘陵公園)が整備され、その中に「今治自然塾」が設立されました。

人類の存在を確かめるための地球の道を実感し、環境問題に対する考えを深められるよう配慮しているところに、大きな特色があるようです。他に、イベント広場やものづくり工房などがあり、里山の空気を満喫できるのも、見どころかと思えます。

文教月報編集協力委員 松岡 隆 (今治市立南中学校長)

ここでは、「子孫から借りている地球環境を、破壊することなく子孫に返す」という今治自然塾宣言実現のため、NPO法人富良野自然塾(作家・倉本聰氏主宰)の「環境教育プログラム」を取り入れ、専属インストラクターの案内で、臨場感豊かに環境問題を考える取組を行っています。



「地球の道」入口

応募自由俳句(定型句も含む)

病む妻に土用鰻をと町に出る 竹の里背文を超える竹の筆 県境は島の真ん中波静か 本誌よりも先ず付録 ちゃんちゃんこ孫に縫う手を急がさる 貨車一つ突き放されて草の秋 着ぶくれて老いのスタイル気にもせず 来年も生きるつもりで種を蒔く 陽を信じ花を信じて明日を待つ

- List of names: 新居浜市 印南 秀雄, 今治市 森 登志雄, 今治市 森 ユキ子, 松山市 廣瀬 幸一, 松山市 加藤 和子, 大洲市 鎌田 文俊, 八幡浜市 谷本 澄子, 内子町 小野 元幸, 宇和島市 米子 達雄

Advertisement for Aikawa Prefectural Education Council's Accumulated Pension System. Text includes: 'ご存知ですか? 愛媛県教育会による積立年金制度' and details about the program.

Advertisement for SEKI Seiki Co., Ltd. '本づくり 応援キャンペーン' (Real Product Support Campaign). Text includes: '足跡をつづる、私を記す、形に残す。' and contact information.